

**1936年(昭和11年)**

広島県庄原市川北町に、姉二人兄一人の末っ子として生まれる。

修道中学を経て同高校2年の時、定期を買うための通学証明書発行の有料化に反発。

学校側に抗議するためビラ配りをして放校処分。

修道高校中退後、上京、都立大泉高校校長先生の特別の温情を以て編入、無事卒業。

1956年(昭和31年)

東京大学経済学部入学。

駒場寮に入り奨学金と家庭教師、キャバレーのボーイ、東洋現像所での夜勤等のアルバイトで自活の為の生活費を稼ぐ。

又合気道に目覚め、それまでどちらかというところがかかった私の人生に多くの影響を与えて下さった方々と出会う。

また、この頃自らを捨てて苦しむ民衆の救済に身を挺した大塩平八郎や西郷南州を読み傾倒する。

## 1960年(昭和35年)

東京大学経済学部卒業後別府化学工業(現住友精化)にてサラリーマン生活。

此の年の60年安保闘争でテモ隊に対して警察のふがいなさに腹を立て、「俺が警察を強くしてやる」と一念発起。警察に入ることを決意する。辞職して猛勉強を始めた頃、東大病院で癌の宣告を受けたが、後に誤診と分かった。

## 1962年(昭和37年)

警察庁に入庁、鳥取県警察本部警務部長、埼玉県警察本部捜査二課長等を歴任。

## 1971年(昭和46年)

警察庁警備局の極左事件に関する初代統括責任者となり、成田空港事件、連合赤軍あさま山荘事件、日本赤軍テルアビブ空港事件等を陣頭指揮。

## 1977年(昭和52年)

警察庁警備局理事官、長官官房調査官を経て退官。

350万円の退職金を元手に衆議院議員選挙に打って出ることを決意。ポスターを自分で張って回る。

**1994年(平成6年)**

**自由民主党全国組織委員長。**

**6月に細川政権の倒閣と、自民党、社会党、さきがけ3党による村山連立内閣樹立へ奔走。運輸大臣就任(村山内閣)。**

**1995年(平成7年)**

**自由民主党組織広報本部長。**

## 1999年(平成11年)

3月旧中曽根派と共に政策集団「志帥会」を結成。

志帥会会長代行。

自由民主党政務調査会長就任(小渕内閣)。

## 2000年(平成12年)

自由民主党政務調査会長再任(森内閣)。

衆議院議員選挙に連続当選(八期目)。

## 2001年(平成13年)

「死刑廃止を推進する議員連盟」会長就任・現職。

「愛国心だ、愛国心だ」と、ことさらに強調されるときには、何かよこしまな意図がある場合が多い。かつて、日本は愛国心を煽り、理性的な思考を停止してしまった。

戦前の政府は、愛国という、誰も抵抗できない言葉でその政策を正当化、美化し、人びとを戦争に駆り立てた。

政府に従わない人間に「あいつは愛国心がない」と批判した。

『白血球 測る晩夏の

渇きかな』

出井(旧姓亀井)知恵子  
俳誌「茜」主宰



私闘越え 滅びゆくかよ 秋津州  
浮き世成りとして 一矢報いぬ

2012.4.吉日 亀井静香